

Title	北朝鮮問題と日米韓の対応：実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2010 年度聖学院大学：学術セミナー聖学院大学総合研究所日韓現代史研究センター主催）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	総合研究所 Newsletter, Vol.21-No.1, 2011.6：23-27
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=3065
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

総合研究所 News

2010 年度 聖学院大学学術セミナー
聖学院大学総合研究所

日韓現代史研究センター主催

北朝鮮問題と日米韓の対応

実地結果—アンケート集計結果の概要—

北朝鮮の韓国領砲撃は朝鮮半島の厳しい南北対立を浮き彫りにし、東アジア情勢は一気に緊迫した。さらに北朝鮮の核兵器開発と核実験は地域の安全保障への重大な脅威となり、核不拡散体制も揺さぶっている。その背景にあるのは、金正日総書記から三男・正恩氏への権力移行と経済の苦境である。問題解決と地域の安定回復には、軍事最優先を掲げる北朝鮮の内部事情と日韓米中ロ5カ国の政策の両面からのアプローチが必要である。とくに価値観を共有し、冷戦期から長期的に同盟関係を維持してきた日韓米の協力が緊要である。東アジア・日米関係と南北朝鮮関係の専門家が危機の解法を語る。

日時 2011年2月26日(土) 13:30～16:00

場所 女子聖学院中学校・高等学校クロウソンホール

【プログラム】

挨拶 大木英夫（聖学院大学総合研究所所長、学校法人聖学院理事長）

講演1 「オバマ政権の東アジア政策と米朝関係」
李鍾元（立教大学副総長）

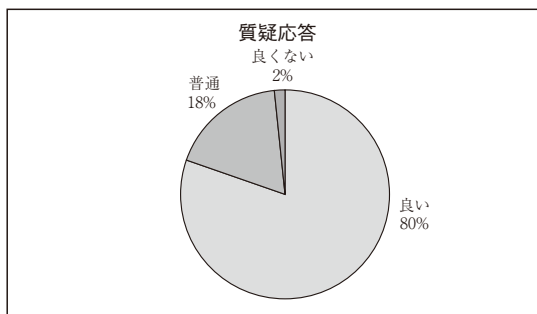
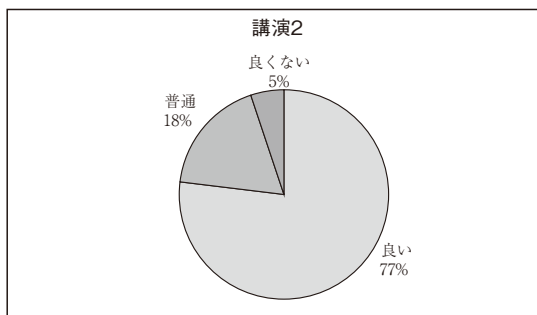
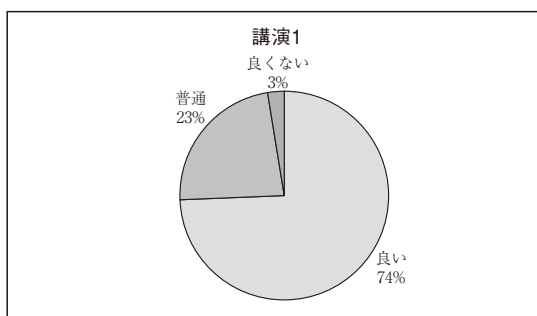
講演2 「北朝鮮の三代世襲が南北関係に及ぼす影響」
康仁徳（聖学院大学総合研究所客員教授、元統一部長官）

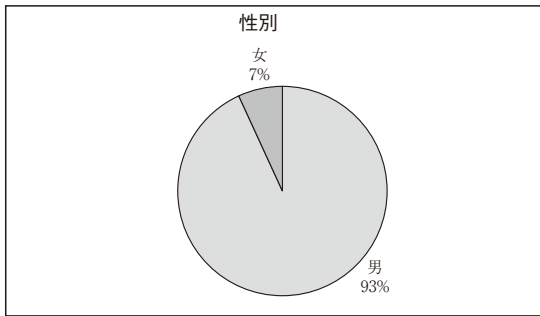
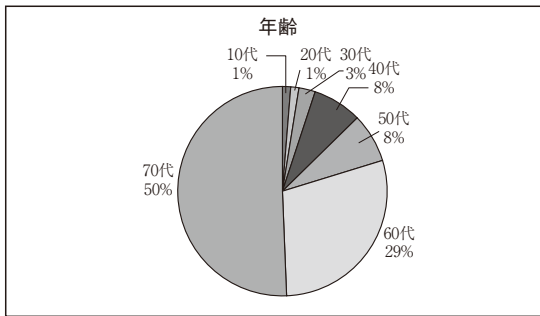
質疑応答

司会 小田川興（聖学院大学総合研究所客員教授）

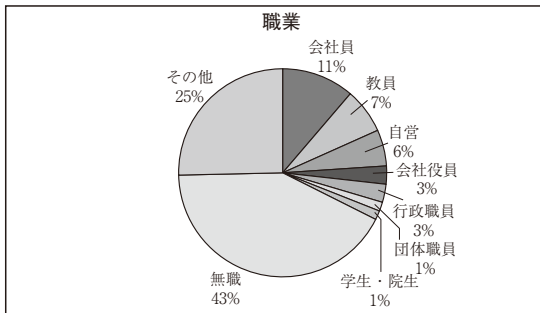
【結果の概要】

- ・セミナー参加者は193名。内、アンケート回答者は79名だった。
- ・講演について、講演1は「良い」が74%、講演2は「良い」77%となった。質疑応答は「良い」が80%であった。
- ・自由意見として、「大変有意義なものだった」「勉強になった」「時間が短かった」など。

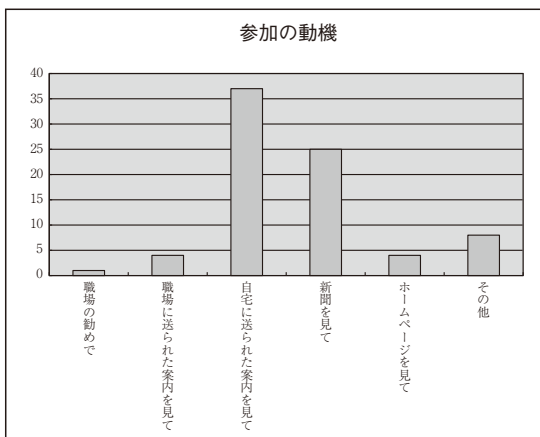




* 回答者のプロフィールとして、年齢別には「70代」が半数を占め、続いて「60代」29%となった。性別は、「男性」が9割以上を占めた。



* 職業別には、「無職」が43%と最も多かった。「その他」の内容として、「アルバイト」「自由業」「ジャーナリスト」など。



* 参加の動機としては、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「新聞を見て」となった。「その他」としては、「友人の紹介」「先生の勧め」「知人の紹介」「前回も参加したから」など。

自由意見

- ・北朝鮮は横田めぐみさんはじめ、多数の方が拉致されて関心を持つようになりました。金正日体制が崩壊したら拉致問題は解決できる糸口になるのでしょうか。
- ・お二人とも大変よかったが、もっと詳しく聞きたいと思うので、もう少し時間が欲しい。1人90分くらい。
- ・「日米韓の対応」と言うとは具体的には「力」による方向にあると思いますが、私としては平和的な対応をして欲しい。「平和的対応」と言えば、相手が困っている部分を助けるのが効果的だと思います。「座して待つ」のも積極的な方策の場合があるとは思いますが、もっと積極的な姿ではないでしょうか？
- ・セミナーの大テーマが「日韓米の対応」であったにもかかわらず、両氏とも「日本」の立場、とるべき方策について、触れることが全くなかったのはいささか物足りなく気になる。内政で手一杯、とりあげる価値もないといってしまうかもしれません。
- ・時節柄、大変貴重なセミナーであり、出席できて光栄に思います。特に講師の李先生、康先生は、この問題の最高権威の人物であります。日頃から李先生は雑誌、TVでお見受けしています。又、康先生は小生の尊敬する金大中元大統領



李 鍾元 立教大学副総長



康 仁徳 聖学院大学総合研究所客員教授、元韓国統一省長官

領の側近として、大変な役割を全うされた高潔な方と存じています。次回セミナーも是非参加させていただきたく。ありがとうございました。

- ・中東情勢の急変という中にあって、北朝鮮をめぐる東アジアの位置をどう考えたらよいのか、という疑問を解きほぐしてくれる内容の講演でした。まだこれからも流動的な展開をいずれの地でもすることが予想されますが、今回のお話の中に基調となるべきものが含まれていることも感じます。ありがとうございました。
- ・こんなに広範囲な話題がカバーされるとは思っていませんでした。ありがとうございました。
- ・日本の拉致問題は、2 国間交渉が必要と思うが、2 国内交渉の可能性はあるのか？ 拉致問題が進展しないのは、対話がないからと思うが、制敵ばかりしていてラチがあかないのではないのか？ 建設的なお考えがあれば教えて下さい。
- ・政治的テーマと別に、市民生活（衣食住、人材、等）をテーマにも取り上げて欲しい。質問の時間ももう少し拡充して欲しい。
- ・最近の中東（エジプト・リビア）情勢に乗ずる形で、韓国政府が北朝鮮側に向けて、民衆の蜂起をけしかけるような放送を始めたということが伝えられています。これは相手国政府をいたずらに刺激するものであり、南北間の緊張を高めてかえって良くないと思います。なお、司会者の方が最後にして提案された内容が良かったと思います。
- ・「北朝鮮」についてその実情を私はあまりに知らなさすぎると考えていて、今日の講演会に参加



女子聖学院中学校・高等学校のクロウソンホールにて開催された。

しました。お二人のお話は、世界の政治問題として、大いに学ぶものがありました。ただ、個人的には、私には平和のために何ができるのかという事が今日の情勢下で、質疑応答の中に大いにありました。もちろん私自身の問題なので、何らかの事はしていますが。

- ・李教授が国籍も市民権もほとんどない。との発言ですが、これだけの日本語を話されるのですから、大いに発言を歓迎したい。康先生の経験を日本政府側はどう見ているのか？
- ・2 人の講師の話は大変説得力のある、有意義なものでした。シンポの話は特にリアルで参考になりました。康先生の体験に裏打ちされたお話は、我々が日常対岸視していることを痛感させられ反省しました。時折お話を聞きたいと思いました。
- ・南北の現状を大変興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。
- ・2 つの講演はどちらも時間が足りないと思いましたが、レジュメが役立ちました。
- ・マスコミの報道を理解する上で大いに役に立ちました。ありがとうございました。
- ・中東情勢が北朝鮮に与える影響等、もう少し聞きたかった。
- ・マスコミを通してではなく、直接聞いたことが良かった。
- ・大変勉強になりました。
- ・北朝鮮は10年後も存在するだろうか？
- ・北朝鮮は金正日が建国し、憲法も党規約も「金正日国家」「金正日民族」を強調し、金正日は遺

訓統治者に過ぎず、金正恩も遺訓統治者にすぎない。従って、全国に300以上ある金正日の銅像が破壊されたときに北独裁体制は崩壊する。北朝鮮は「金正日の亡霊支配の国」である。1995年訪朝時新しい手帖に「この国は金正日亡霊支配の国などと高麗航空機上で書いて空港に降り立つことを思い出す。

平壤は農村部を削って縮小したが、この国のショーウィンドーであり「トマト族」しか住めない。平壤市を壊滅したら、金一族独裁体制は崩壊か？

- ・大木理事長による説明で聖学院の歴史、平和観がわかった。
- ・総研の問題意識の説明（大木先生）に納得。
- ・北朝鮮を取り巻く情勢の難しさが良く分かり、大変に有意義なお話でした。
- ・専門家の先生方の講演、大変勉強になりました。今後もこうした講演、研究会を続けて欲しいと考えます。
- ・講師2人の講演内容は大変良かった。レジュメも充実していた。時間が足りないのもう1時間延長してほしい。
- ・せっかくの講演なのにマイクに対しての注意不足。特に李先生の講演の際、はっきり聞こえない。もったいない感じ。康先生は結構でした。質疑応答の時間があつたのは良かった。
- ・北朝鮮問題はまさに中国との問題である。中国に対しては賛同する多国間による包囲網を作ること。
- ・大変有意義な講演会でした。日本にとって隣国との関係なので、今後とも余談を許さない大切な問題について、新しい知識を学ぶ事ができた。朝鮮半島、中国について常に学ぶ必要を痛感した。会場も立派で今後もよろしくお願いいたします。
- ・明確なメッセージ主張があり、学ぶことの多いセミナーでした。ありがとうございました。
- ・回答者の真摯な態度に好感をもった。時間が足りないのが残念。
- ・レジュメ（講演要旨）を頂け、理解を深めることができ、感謝します。
- ・康先生は、韓国統一省で北朝鮮を担当されてい

ただけに言葉に重みがあった。KBSの放送で北兵士が脱北する1970年代の事例を聞き、国家としての働きかけの重要性がわかった。

- ・時間が足りません。講師を2人にしほり、日本語のみでのセミナーでしたので、かなり変わりましたが、それでも時間が足りません。もう一工夫お願いします。
- ・李先生の大変整理された説明は頭の中にすっきりと入りました。大変分かりやすいお話でした。康先生も長年の経験に裏打ちされた証言でした。ただご高齢の講師に立ってお話いただくのはお疲れではないでしょうか。講演形式もいいですが、お2人の対談方式もよろしいかと思えます。
- ・北朝鮮はやくざの団体である。世襲など許されない。日本も早く天皇家を廃止すべきだ。
- ・質疑応答の時間をもっと多くしてもらいたい。
- ・全体的に時間が短すぎる。2時間半から4時間取りたい。質疑応答がほとんどなかった。
- ・講演時間40分は短いので、1人当たり1時間位欲しい。
- ・講演者のマイクの調整が悪く、聞きにくい面がありました。
- ・音声のボリュームが小さくて、聞こえなかった。もったいなかった。
- ・マイクの音量が小さく講演の内容が聞きにくかった。
- ・李氏の講演ではマイクの設定位置が悪く、十分に内容を聞き取れなかった。残念！
- ・マイクの使い方（講演者の）への運営上の配慮が足りなかった。途中から改良されたが残念



193名の参加者があつた。

だった。

- ・講演はマイクが悪くて、あまり聞き取れず困りました。
- ・李鍾元先生と康仁徳先生のお話はマイクの位置が悪く、半分も聞き取れなかった。(趣旨はいただいた資料で勉強した) マイクは質疑応答時のように手に持って話しては如何でしょうか。
- ・会場に机のないのが残念でした。